

# 第9回 佐鳴湖交流会を開催しました

令和2年2月22日(土)、静岡大学浜松キャンパス佐鳴会館ホールにて、第9回佐鳴湖交流会を開催しました。

佐鳴湖交流会は、佐鳴湖で活動する**各団体の交流を図り**、各団体の取組に係る**情報発信の場**や、佐鳴湖の現状や将来について**自由に語り合う場**を設けることで、**市民活動の輪を広げるとともに、佐鳴湖への取組の機運を盛り上げ、市民自らの手で良好な水辺空間の形成を図る**ことを目的として開催しています。

## ポスター発表

研究・調査成果の発表や、活動内容のポスター発表を行いました。

研究成果、活動内容などをポスター展示し、お茶やお菓子をつまみながら、自由に活発な発表、意見交換を行いました。



## 発表会

5団体が、研究・調査成果の発表や、活動内容の発表を行いました。

### 1 みんなの市民佐鳴湖学 この1年 -月刊佐鳴湖新聞から



市民環境ジャーナル  
井上正男

月刊佐鳴湖新聞は、イベント報告に加え、浄化対策専門委員会の委員長や、2008年の研究プロジェクトの元研究統括マネージャーに取材し、次期行動計画に対する思いや提案を伺った。今後も皆さんの意見集約を行っていきます。

### 2 アカミミガメと一緒に捕獲されたクサガメを どうするか問題



昆虫食倶楽部  
小林芽里

アカミミガメを捕獲するだけでなく、様々な活用をしています。駆除はかなり進んでいますが、一方で在来種として放流していたイシガメとクサガメが、国内移入種や外来種であることが分かり、新たな課題が見えてきました。

3

### 佐鳴湖流域のネオニコチノイド系農薬の濃度分布の状況



佐鳴湖シジミプロジェクト協議会

辻野兼範

ネオニコチノイド系農薬は、神経に作用する殺虫剤で、一般に普及しています。日本は海外ほどリスク評価が行われず、残留農薬の基準も甘いです。佐鳴湖での影響は出ていないと思いますが、このことを私の問題として考えてください。

4

### 食べられる里山づくり



パーマカルチャーデザインラボ

大村 淳

持続可能性をテーマにフォレストガーデンの手法を取り入れた里山づくりをしています。単一栽培ではなく、多種多様な植物を共存させるデザインは、農薬や肥料といった佐鳴湖の課題、気候変動の課題にも役立つと考えています。

5

### 佐鳴湖への集客を佐鳴湖のプランクトンと水質汚濁の関係イベントや観光スポットを伝え、人を集めるには？

佐鳴台中学校

竹内奈菜子  
赤塚陽斗  
境野心ノ花

- ・佐鳴湖でのイベントの知名度が低いことから、クリーン作戦の充実、釣りに来る人を集める、佐鳴湖花火大会を盛り上げる、風景を生かすことを提案します。他にもたくさんのアイデアがあるので、皆で協力して自然との調査を大事にする良い湖にしたいです。
- ・佐鳴湖のプランクトンを減少させるためには、肥料の流出防止や、河川の川底の改修などが効率的です。私達中学生は、自分から地域の活動に参加したり、佐鳴湖でゴミを捨てない、ゴミを拾うといった小さな取組を行いたいと思います。
- ・桜トンネルや花火大会がおすすめのイベントやスポットです。これを利用した未来の佐鳴湖を実現するため、ゴミを捨てない、生き物を大切に、佐鳴湖周辺の人がイベントに参加し、ポスターを作って盛り上げる、インターネットやTwitterで詳しく発信することを提案します。



## 意見交換会

現在策定を進めている佐鳴湖地域協議会の新計画、特にブログによる情報発信や連携について意見交換をしました。



- ・佐鳴湖が汚いイメージがまだ残っているので、具体的な良い点を市民と行政が協働してもっと発信していきたい。
- ・もっと頻繁に会って話をする場を設けて、提案が皆事になって進めるとよい。
- ・一般の人が分かりやすいように、食べる、楽しむ、美しいといった興味を刺激する工夫を、多様な角度からアプローチしていきたい。

中学生や高校生も参加し、昨年に引き続き様々な団体の交流の場となりました。終了後のアンケートでは、「多くの意見が出て、互いに刺激になり、今後の活動につながった。」「佐鳴湖の活動をいろんな視点からみることができて、視野が広がりました。」「はじめて参加させていただきましたが本当に楽しかった。」「長年活動している方の佐鳴湖への想いや情熱が伝わってきて良い機会だったと思う。」といった感想をいただきました。

佐鳴湖地域協議会 事務局 浜松土木事務所企画検査課 (TEL. 053-458-7266)

浜松市環境保全課 (TEL. 053-453-6144)